

2025年12月9日

〒107-0062

東京都港区南青山六丁目2番9号

MTM Capital 株式会社

代表取締役 嶋田 智樹 様

〒276-0020

千葉県八千代市勝田台北一丁目11番16号

株式会社地域新聞社

代表取締役 細谷 佳津年

質問状（3）

この度は、当社からの2025年11月18日付け「質問状(1)」及び同日付け「質問状(2)」（総称して、以下、「前回質問状」といいます。）に対して、貴社より2025年11月25日付け「回答書」（以下、「本回答書」といいます。）をお送りいただきまして、ありがとうございました。本回答書でのご返信をいただきましたので、今回より、分量の問題もあり、内容証明ではなく通常のレターの形式にてご連絡いたします。

追加でお伺いしたい下記(1)乃至(5)の各事項につきまして、2025年12月15日（月）までにご回答いただけますようお願い申し上げます。

なお、本書面において用いられる用語については、特段の断りのない限り、従前の質問状における用語と同一の意味を有するものとします。また、本書面及びご回答内容は、当社が必要に応じて公表することがあり、また、関係官公庁及び検査機関等に情報提供することがありますので、あらかじめご了承願います。

記

（1） 当社株式の保有状況

- ・ 貴社は2025年10月20日にYN企画に対して保有する当社株式の全部を譲渡した以降は、当社株式の売買（信用取引を含みます。）を一切行っておらず、現在、当社株式を1株も保有されていないとの理解でよろしいでしょうか。

（2） 他の株主との関係及び意思連絡の有無に関する追加質問

- ・ 前回質問状の「（4）当社株式に関する意思連絡の有無」でご質問させていただいた事項に関して、同（4）の（ア）～（エ）で挙げた事実に加えて、下記の事実から貴社と一定の関係が存在することが合理的に疑われる①中谷正和氏、②三角朋広氏、③野本

豊氏及び④鈴木祥元氏との関係（出資関係、資金の貸借関係、役員兼任関係、親族関係、ビジネス上の関係、出身校その他のコミュニティの中における人的関係及び一方の従業員、組合員その他構成員が他方の従業員、組合員その他構成員である又はあったことがあるなどの人的関係を含むが、これに限らない。）、並びに、当社株式の取得・議決権の行使・提案行為等に関する意思連絡の有無及びその詳細についてもご回答ください。

- (i) 中谷正和氏と三角朋広氏は共にソラ合同会社の代表社員を務めているところ、ソラ合同会社と本店所在地が同一のソラ株式会社（代表取締役は中谷正和氏）は、ピクセルカンパニーズ株式会社（以下、「ピクセルカンパニーズ」といいます。）の2023年3月6日付け「主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」によれば、ソラ株式会社は水たまり投資事業組合の業務執行組合員であり、ピクセルカンパニーズの2025年3月31日付け第39期有価証券報告書によれば、同組合はピクセルカンパニーズ株式を2,203,200株（2.38%）保有していること
- (ii) ①GFAの片田朋希・現専務取締役が2024年12月31日現在でピクセルカンパニーズの大株主に登場（第6位株主、持株割合0.971%）していること（ピクセルカンパニーズの2025年3月13日付け「第39期定時株主総会招集通知」参照）、②GFAの松田元・現代表取締役社長がピクセルカンパニーズの社外取締役であり、GFAの片田朋希・現専務取締役がピクセルカンパニーズの元社外取締役であること（同招集通知参照）、③ピクセルカンパニーズとGFAは2024年12月6日にAI特化型データセンター事業の構築を目指す基本合意契約を締結していること（両社の同日付け「GFA株式会社とピクセルカンパニーズ株式会社との基本合意契約締結に関するお知らせ」参照）、④GFAは、2024年12月24日付で、株式会社Your Turnから、ピクセルカンパニーズの新株予約権37,000個を1,709万4,000円で譲り受けていること（ピクセルカンパニーズの2024年12月24日付け「第15回新株予約権の一部譲渡に関するお知らせ」参照）等、GFAとピクセルカンパニーズとの間には資本関係、人的関係及び取引関係があること
- (iii) 2014年9月9日付で提出されたファーストメイク・リミテッドによるミナトエレクトロニクス株式会社株式に係る大量保有報告書及び2015年12月15日付で提出されたファーストメイク・リミテッドによるミナトホールディングス株式会社（以下、「ミナトHD」といいます。）株式に係る大量保有報告書によれば、野本豊氏は単独で、また、（鈴木祥元氏と共に秀文社印刷株式会社の代表取締役を務め、同住所に居住する）鈴木伸幸氏と共に

に、ファーストメイク・リミテッドに金銭を貸し付けていること

- (iv) ①貴社代表社員である櫻井重彰氏が代表を務める情報システム総合研究所の取締役であって、サステナブル有限責任事業組合の2名の組合員のうちの1名であった菊本博之氏は、ファーストメイク・リミテッド（代表取締役は前一明氏）の監査役であること、②KING 有限責任事業組合の組合員である相良健志氏は、ファーストメイク・リミテッドの元取締役であったこと、③GFA の片田朋希・現専務取締役が自らの会社である株式会社 M&J を通じてフィナンシャル・アドバイザーを務めたミナト HD が 2016 年 2 月 4 日に行つた大規模第三者割当増資の引受人は、和円商事、合同会社 PTB、Brilliance Multi Strategy Fund、Brilliance Hedge Fund、有限会社 Cyberize（取締役：戸部日登志氏）及び株式会社 Financial Bridge（代表取締役：中野智之氏）であるが、この件では、ファーストメイク・リミテッドが和円商事及び有限会社 Cyberize をミナト HD に紹介したとされていること（ミナト HD の 2016 年 1 月 19 日付け「第三者割当による新株式及び第 5 回新株予約権発行に関するお知らせ」参照）

(3) 当社株式の取得時期について

- 貴社が 2025 年 7 月 10 日付けで提出された大量保有報告書によれば、貴社が当社株式 596,200 株 (15.94%) を取得したのは、2025 年 7 月 4 日であるところ、振替口座簿記録事項通知によれば、同年 7 月から 8 月の間に、①バイオセラミック、②Happy horse、③KING 有限責任事業組合、④中谷正和氏、⑤三角朋広氏及び⑥野本豊氏が相当数の当社株式を取得しております。これに関して、上記①～⑥の株主と当社株式の取得時期が重なったことについて思い当たる理由（もしあれば）をご教示ください。

(4) 当社株式の処分時期について

- 貴社が 2025 年 10 月 27 日付けで提出された変更報告書 No. 1 によれば、貴社が保有する当社株式の全部を YN 企画に譲渡したのは、2025 年 10 月 20 日であるところ、同月 20 日から同月 24 日の間に、①バイオセラミック、②Happy horse、③KING 有限責任事業組合、④中谷正和及び⑤野本豊氏が相当数の保有株を売却し、日本証券金融株式会社名義の株式が同日から同月 31 日までの間に大幅に増加しております。これに関して、(i) 貴社が当社株式を処分したのが 2025 年 10 月 20 日になった経緯・理由及び信用取引の利用状況、並びに(ii) 上記①～⑤の株主と当社株式の処分時期が重なり、同時期に日証金名義の株式が大幅に増加したことについて思い当たる理由（もしあれば）をご教示ください。
- 上記に関連して、貴社は、現時点で当社株式を信用取引で買付けをしているという事実はないと理解して良いでしょうか。貴社が当社株式を信用取引で買付けをしている

事実があるということであれば、当該信用取引で保有している当社株式の数、当該信用取引で利用している証券会社の名称及び当該証券会社を選択した経緯・理由についてご教示ください。

(5) 当社に関する一部報道記事について

- ・ 当社に対する「ウルフパック戦術」による「経営権奪取」に関して、2025年11月23日付で「『地域新聞社』プロキシー・ファイトで浮上した、あの大塚弁護士の利益相反疑惑！？」と題するアクセスジャーナル記事（以下「本記事」といいます。）が掲載されており、本記事によれば、当社は「ウルフパック戦術で経営権奪取をされそうになっている」ところ、「X氏」を含む「この乗っ取りを仕掛けている側の複数の関係者」からアクセスジャーナルに告発があったことですが、貴社によるかかる「ウルフパック戦術」及び「経営権奪取」への関与の有無及びその詳細をご回答ください。
- ・ また、アクセスジャーナルに告発を行った「この乗っ取りを仕掛けている側の複数の関係者」ないし「X氏」について心当たりがあれば、①当該人物の氏名、②当該人物が法人その他他人名義で当社株式を保有している場合にはその名義、③当該人物と貴社との間の関係についてご回答ください。
- ・ 本記事によれば、当社に対するウルフパック戦術による経営権奪取に関する「本尊」（なお、本記事によれば当該人物はアクセスジャーナルの記事に何度も取り上げられているとのことです。）が存在することですが、かかる「本尊」について心当たりがあれば、その氏名及び貴社との関係についてご回答ください。

以上